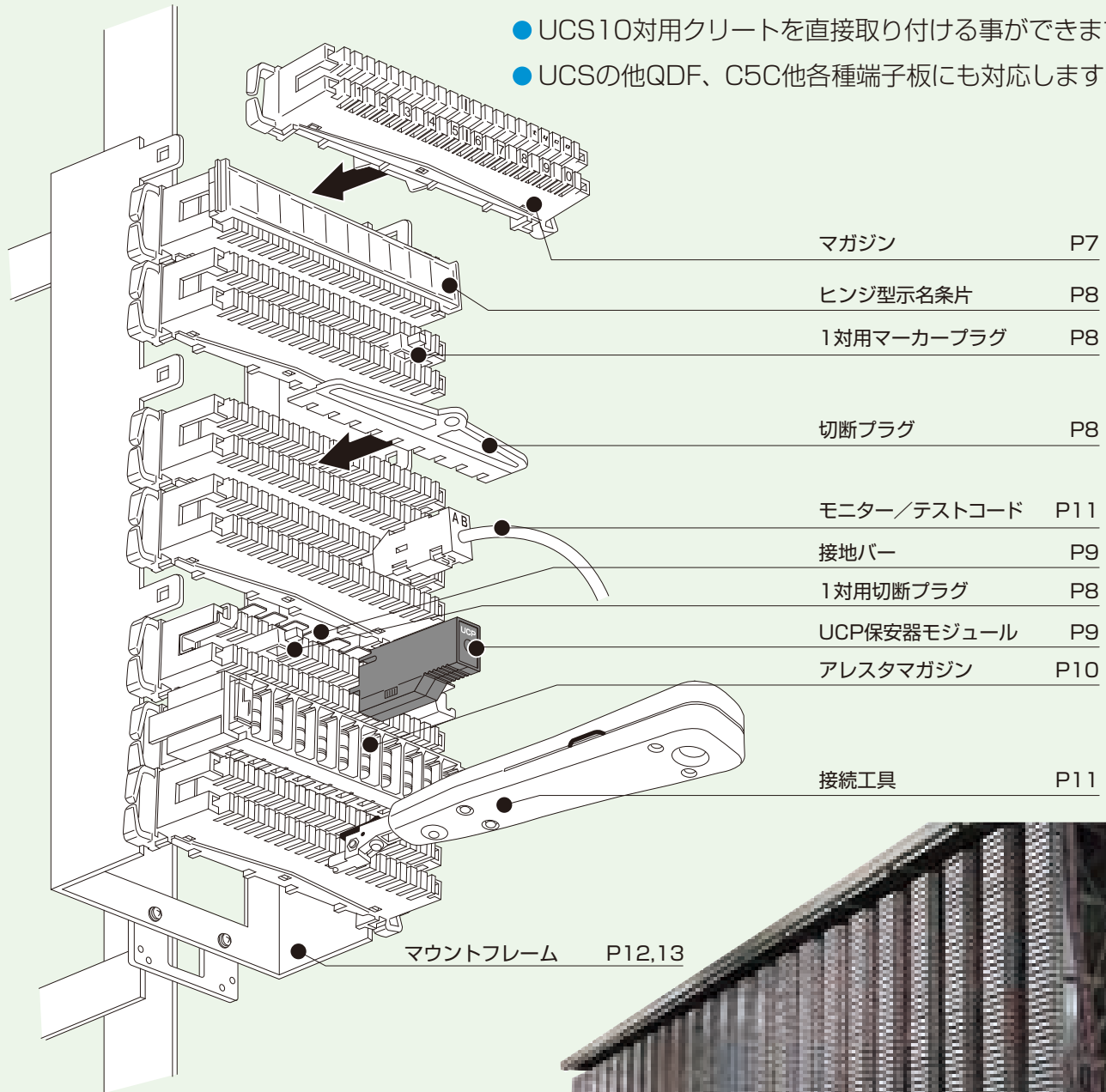


P-3型MDF架構成図

- マウントフレーム10段を介してUCSを取り付けます。
- 通常1V最大UCSマガジン70個ですが、T字金具を追加し、最下部まで用いれば80個取り付けられます。
- UCS10対用クリートを直接取り付ける事ができます。
- UCSの他QDF、C5C他各種端子板にも対応します。



マガジン P7

ヒンジ型示名条片 P8

1対用マーカープラグ P8

切断プラグ P8

モニター/テストコード P11

接地バー P9

1対用切断プラグ P8

UCP保安器モジュール P9

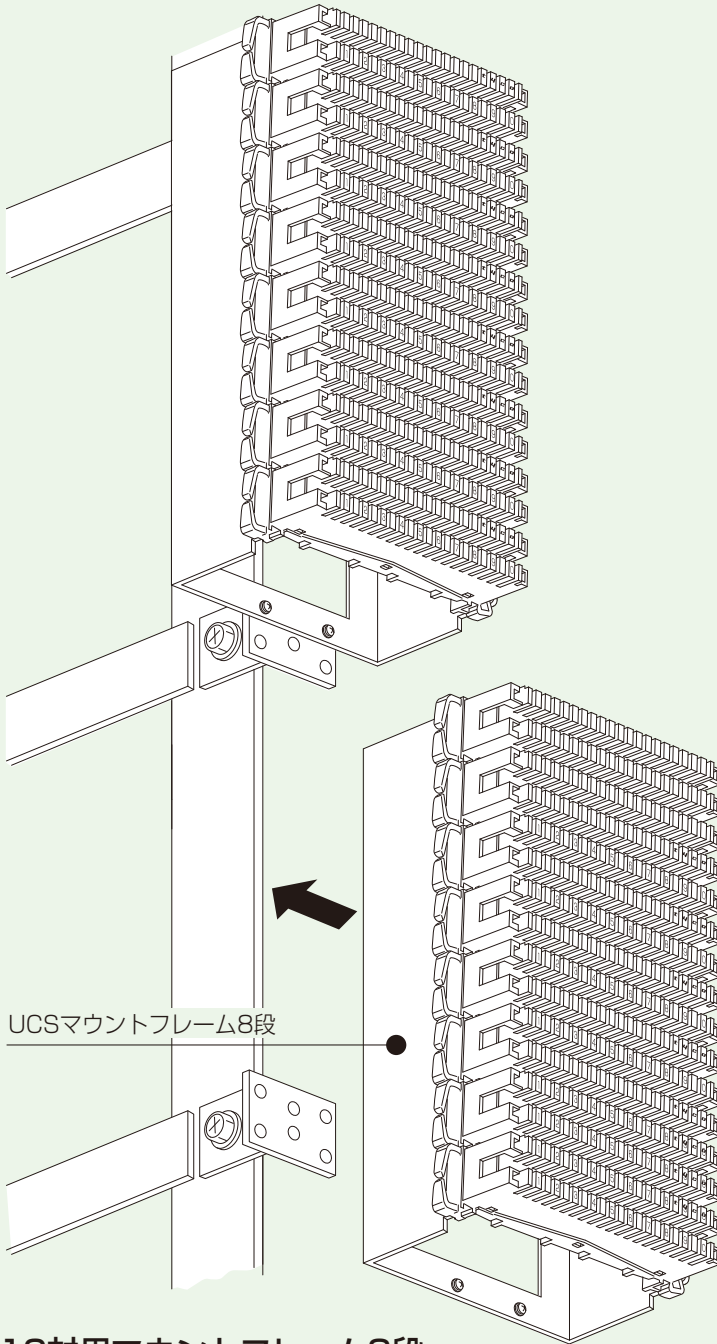
アレスタマガジン P10

接続工具 P11

マウントフレーム P12,13



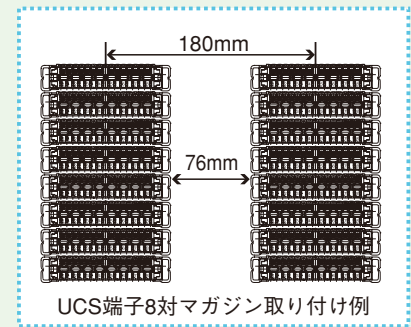
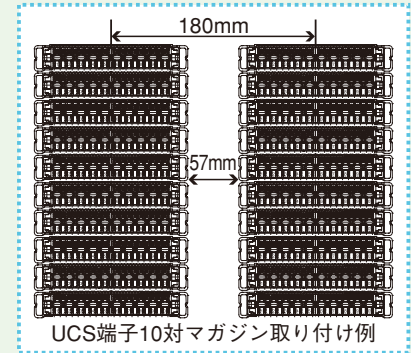
P-2型MDF架対応



- 既設のP-2型MDFを生かしてUCSを取り付けることが可能です。
マウントフレーム8段は既設のT字金具に直接取り付けることができます。

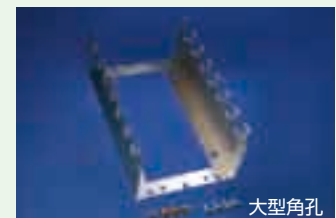
ご注意：

10対用マガジンを左右に隣接させると、手の入る隙間が確保できるのをご注意ください。



10対用マウントフレーム8段

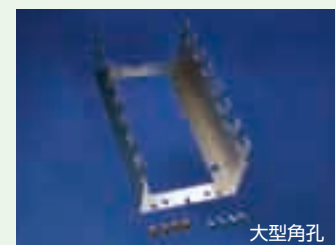
品名コード	UCS-MF-30-08-M	UCS-MF-50-08-M
品番	D100-9024	D100-9026
収納数	8個	8個
深さ	30mm	50mm
背面孔	大型角孔	大型角孔
販売単位	1個	1個



大型角孔

8対用マウントフレーム8段

品名コード	UCS-MF-30-8-08-M	UCS-MF-50-8-08-M
品番	D100-9025	D100-9027
収納数	8個	8個
深さ	30mm	50mm
背面孔	大型角孔	大型角孔
販売単位	1個	1個

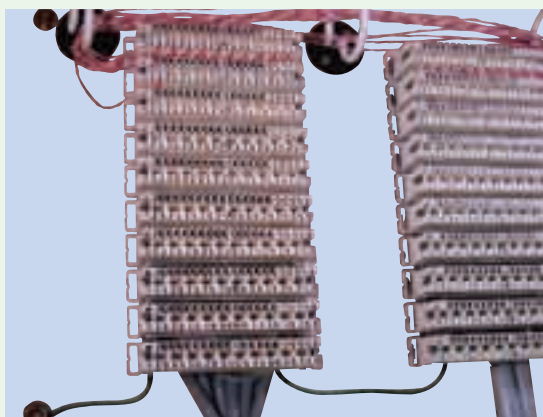


大型角孔

UCS工事マニュアル

本工事マニュアルは下記に示すUCS端子、その他UCS関連アクセサリを対象とします。

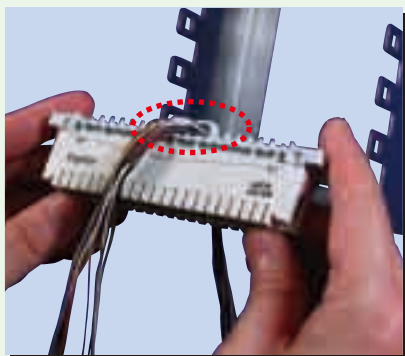
- **UCS-DM ディスコネクションマガジン (切分タイプ)**
 10対：UCS-DM-W-SP, UCS-DM-09-W-SP
 8対：UCS-DM-8-W-SP, UCS-DM-07-W-SP-P
- **ケーブル条件**
 下記の芯線径と芯線外皮径の双方を満たすケーブルを使用してください。
 芯線径範囲：0.40mm～0.80mm 単線
 外皮径範囲：0.69mm～1.40mm



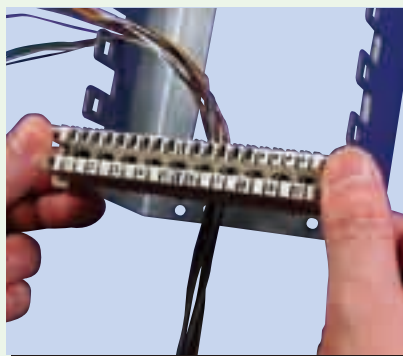
1. UCS端子 一次側を成端

- **ケーブルの線番をよく確認し、マウントフレームの下側から成端していきます。**

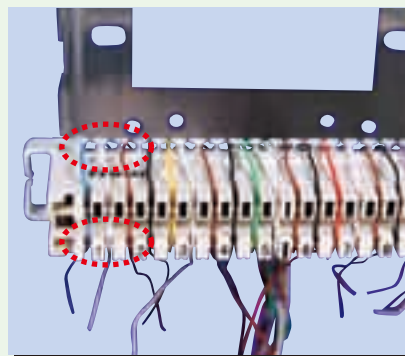
上段側のマガジンから下段側のマガジンに向かって線番が増えていくことが多いので、線番にご注意ください。写真の100対の場合、最上段が1～10としますと91～100から成端することになります。



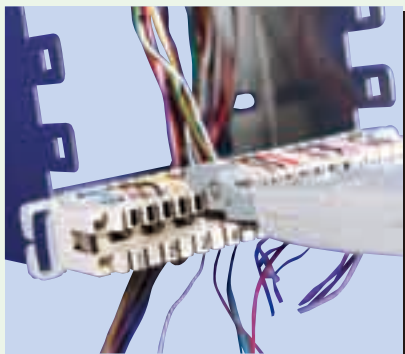
1. 10対(8対)または必要対数を選別し、余長をとりケーブルガイドを通します。



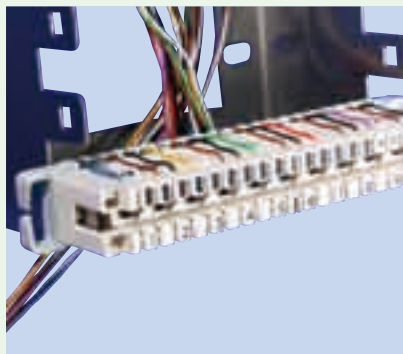
2. マガジンを両手で押し込んでマウントフレームに装着します。



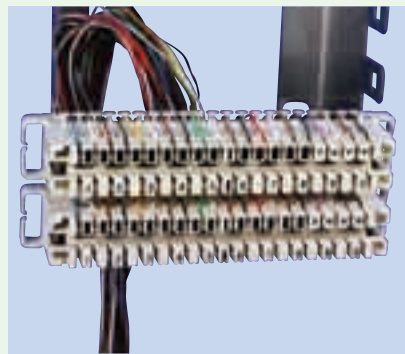
3. 芯線毎に選別し、フックとマガジンの溝にはさみます。



4. 専用工具を写真の向きのようにマガジンの端子溝に垂直に挿入し、一気に押し込むと芯線の接続、切断を同時に行います。



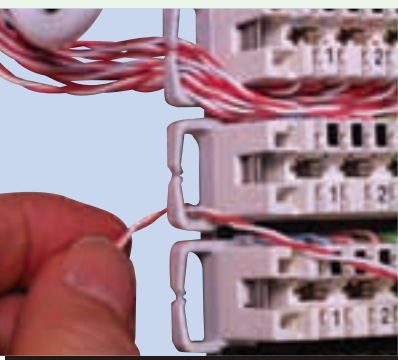
5. 接続後は芯線が少したるんで浮き上がります。木ヘラ等で整理します。



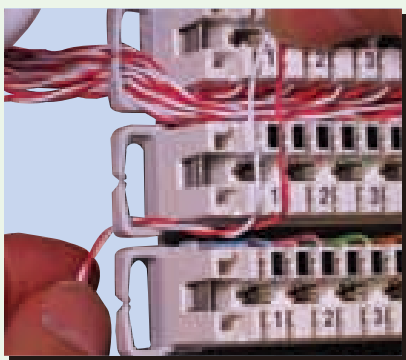
6. マガジン2個終了

⚠ **芯線挿入量を目視で確認し、不足の場合は2度打ちしてください。**

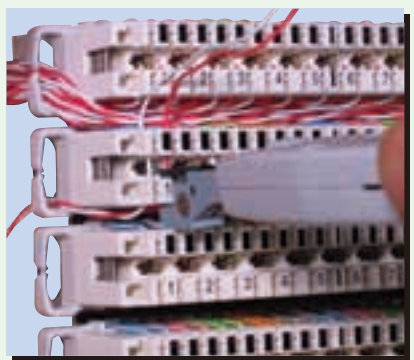
2. ジャンパ作業



1. マガジンのジャンパガイド（左右）にジャンパ線を通します。

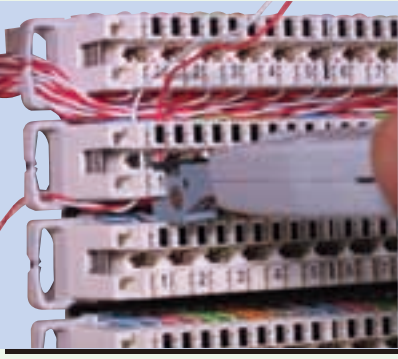


2. 所定の端子番号の端子溝にはさみます。



3. 専用工具を写真の向きのように端子溝に挿入し、一気に押し込むと接続、切断を同時に行います。

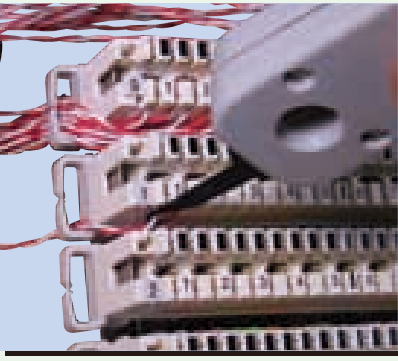
マルチ接続の場合



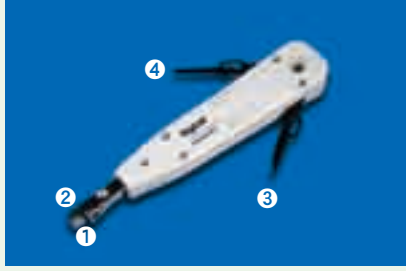
上の手順を繰り返し、2本目を打ち込みます

- ⚠ マルチ接続の際は、1本目2本目とも同じ銘柄のIDC用ジャンパ線をお使い下さい。
- ⚠ 2本目の押し込みは、2度打ちをすることを推奨します。
- ⚠ IDC用ジャンパ線は従来のジャンパ線より被覆が薄くなっています、UCS標準工具で強く押しつぶすことの無いようご注意ください。

ジャンパ線の外し方

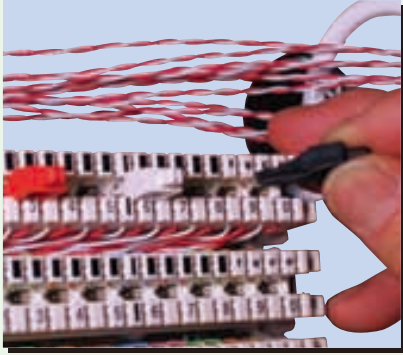


ジャンパ線の外し方
専用工具のフックレバーで引っ掛けて抜き取ります。

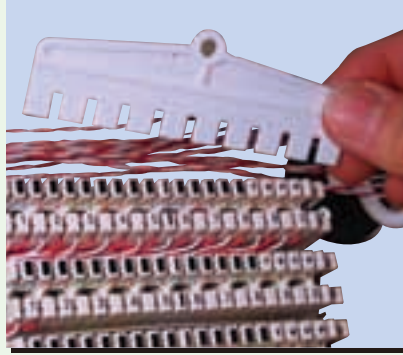


- ① 芯線押し込み部
- ② 芯線カッター部
- ③ フックレバー
- ④ フラットレバー

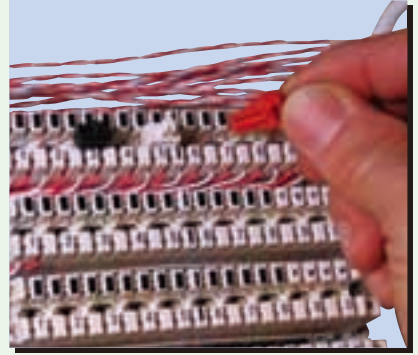
3. 各種アクセサリの取り付け方法



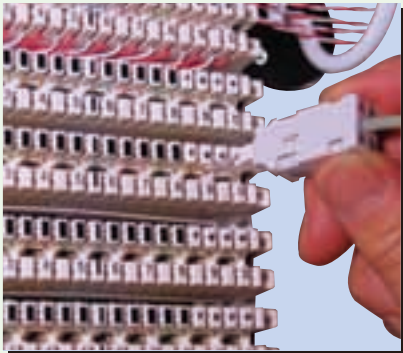
- 1対用切断プラグ UCS-DMに使用
- 白,黒,赤の3色があります。



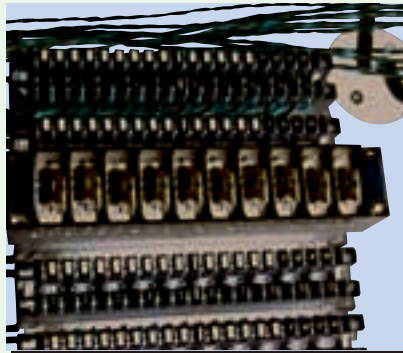
- 10対, 8対用切断プラグ
- 白色のみ



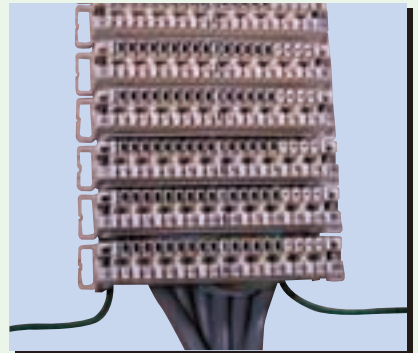
- 1対用マーカープラグ
- 白,黒,赤の3色があります。



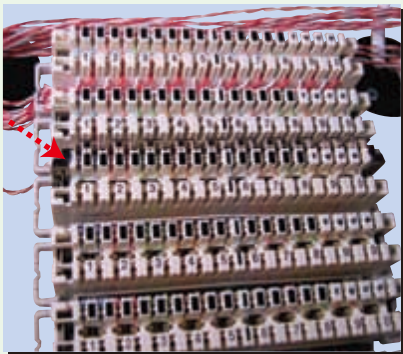
- テストコード及びモニターコード
- 4ワイヤーテストコードはUCS-DMに用います。
- 2ワイヤーモニターコードはUCS-DM, UCS-CM兼用です。
- パナナプラグ側には短絡機能があります。



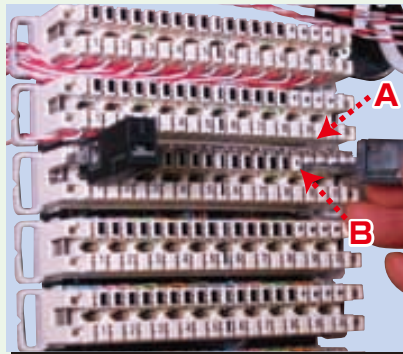
- アレストマガジン
- UCS-DM,UCS-CM兼用です。
- マウントフレームは必ず接地してください。



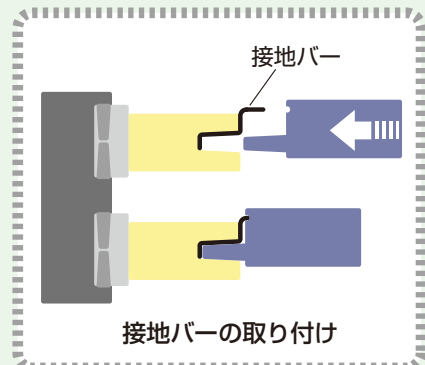
- マウントフレーム接地例



- 保安器モジュールの装着
- UCS-DMに使用。
- 最初に保安器接地バーを取り付けてください。
- マウントフレームは必ず接地してください。

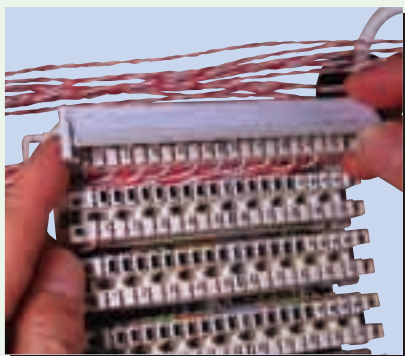


保安器モジュールを接地バー(A)と切分接点部(B)に押し込みます。



接地バーの先端部がUCP保安器モジュールのスリットに入ります。

* 正面から真っ直ぐ挿入してください

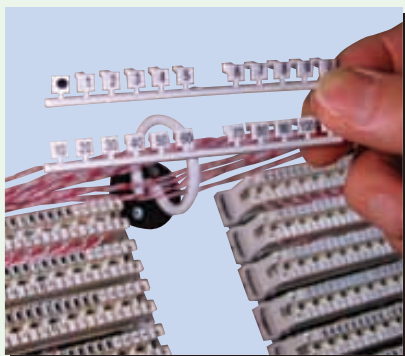


- 示名条片（ヒンジ型）の取り付け
ヒンジ部は上側になります。

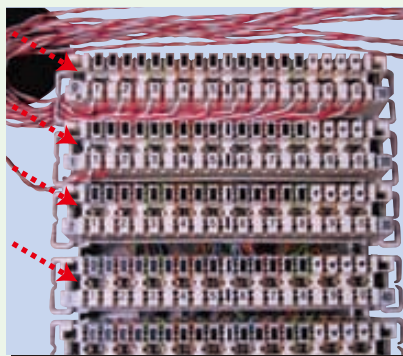


両手で押し込みます。

端子番号片は使用できなくなります。



- 端子番号片の取り付け
マガジン10個に対し、端子番号片は1組付属しています。



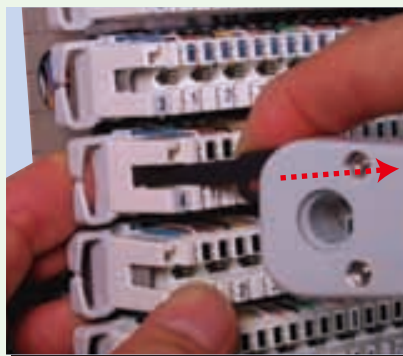
マガジンの矢印位置に押し込みます。

示名条片は使用できなくなります。

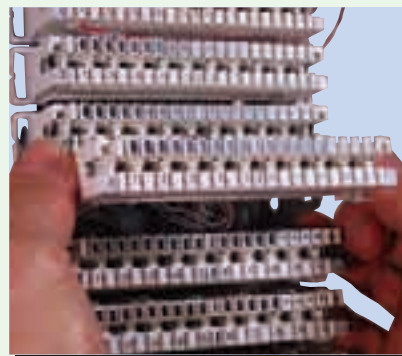
4. マガジンの取り外し



専用工具のフラットレバーを写真の様にマガジンの端部に押し込みます。



フラットレバーの先端でマガジン内部の嵌合突起を押し出しながら（専用工具をマガジン内側に若干倒す）マガジンを少しずつ引き出します。



反対側も同様に引き出し、取り外し完了

5. 施工上のご注意

- ⚠ 本製品は電話端子板に用いるものです。他の用途にはご使用にならないでください。
- ⚠ 施工前に本工事マニュアル・施工上のご注意をよく読んでください。
- ⚠ 製品には、細かな部品や鋭利な先端を持ったものがあります。子供の手の届かない場所にて管理願います。
- ⚠ 予告無く製品の仕様を変更する場合があります。

UCSボックス選定表

日東工業株式会社様の製品をご紹介します。
 下図のUCS外形寸法図を参考としてご覧ください。
 日東工業製品お問い合わせは、お取り扱い代理店様、又は
 日東工業株式会社様ホームページ www.nito.co.jp まで。

対数	品名記号	有効深さ*	外形寸法	備考
10対~50対	B12-33	88mm	W:300 H:300 D:120	盤用ボックス
	RS12-33	102mm	W:300 H:300 D:120	防水・防塵 屋外設置可能
	L16-33PW	142mm	W:300 H:300 D:160	薄板軽量ボックス
	PL16-33	132mm	W:300 H:300 D:165	樹脂製ボックス 防水・防塵 屋外設置可能
100対	PTM16-4535BL	130mm	W:450 H:350 D:160	樹脂製ボックス
	THA12-34AC	102mm	W:300 H:400 D:120	薄板軽量ボックス
	THA12-35AC	104mm	W:300 H:500 D:120	薄板軽量ボックス
	B12-35	88mm	W:300 H:500 D:120	盤用ボックス
	RS12-45	102mm	W:400 H:500 D:120	防水・防塵 屋外設置可能
	L16-45PW	142mm	W:400 H:500 D:160	薄板軽量ボックス
200対	PL16-34	131mm	W:300 H:400 D:165	樹脂製ボックス 防水・防塵 屋外設置可能
	PL16-35	131mm	W:300 H:500 D:165	樹脂製ボックス 防水・防塵 屋外設置可能
	PTM16-4535BL	130mm	W:450 H:350 D:160	樹脂製ボックス
	THA12-55AC	104mm	W:500 H:500 D:120	薄板軽量ボックス
	B12-65	88mm	W:600 H:500 D:120	盤用ボックス
	PL16-54	131mm	W:500 H:400 D:165	樹脂製ボックス 防水・防塵 屋外設置可能

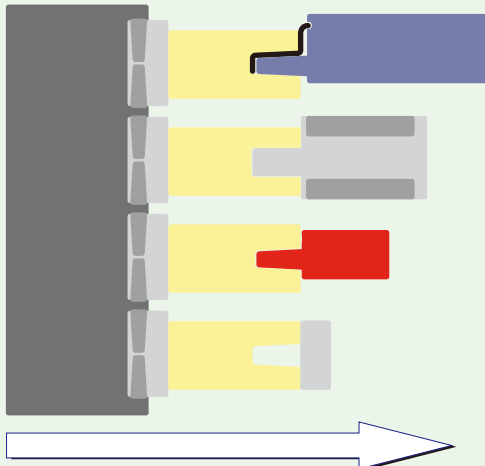
★ハンドル部の有効深さは異なりますのでご注意ください。



UCS外形寸法

各アクセサリを取り付けた際に必要な、ボックス有効深さを示します。

●マウントフレーム装着時



深さ30mmの場合

深さ50mmの場合

■UCP保安器モジュール	107mm	127mm
■アレスタマガジン	86mm	106mm
■1対切断プラグ	74mm	94mm
■ヒンジ型示名条片	67mm	87mm

※マウントフレーム内のケーブルスペースについてはP12参照

UCS木板取り付け寸法

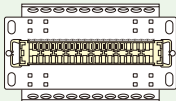
10対マガジン

UCS固定金具



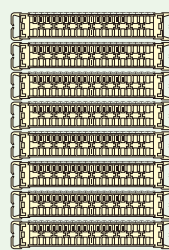
必要寸法 35mm×125mm
高さ 42mm

UCSクリート



必要寸法 71mm×131mm
高さ 48mm

マウントフレーム8段



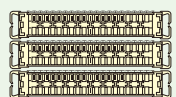
必要寸法 181mm×124mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

マウントフレーム1段



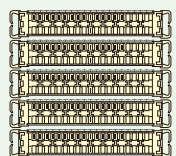
必要寸法 23mm×124mm
高さ 54mm

マウントフレーム3段



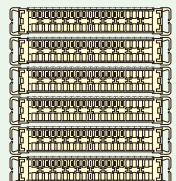
必要寸法 68mm×124mm
高さ 54mm

マウントフレーム5段



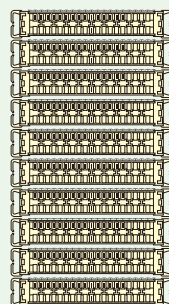
必要寸法 113mm×124mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

マウントフレーム6段



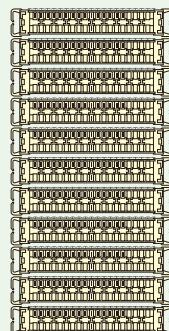
必要寸法 136mm×124mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

マウントフレーム10段



必要寸法 226mm×124mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

マウントフレーム11段



必要寸法 248mm×124mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

* マウントフレーム11段は都度製造品です。

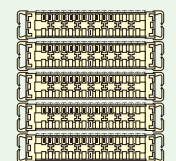
8対マガジン

UCS固定金具



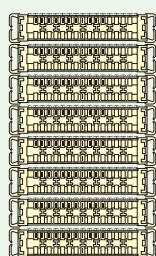
必要寸法 35mm×105mm
高さ 42mm

マウントフレーム5段



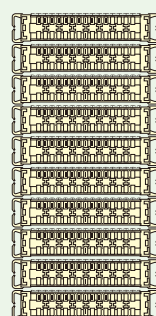
必要寸法 113mm×104mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

マウントフレーム8段



必要寸法 181mm×104mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

マウントフレーム10段



必要寸法 226mm×104mm
高さ 62mm (マウントフレーム高さ30mmの場合)
82mm (マウントフレーム高さ50mmの場合)

実際の施工では、ジャンパー線やケーブルの取り回しスペースも必要になります。